

「JENESYS2024」中国社会科学院青年研究者代表団の記録

1. プログラム概要

【目的】

本事業は、中国の哲学・社会科学の最高機関である中国社会科学院に所属する有望な若手研究者を訪日招聘し、「産業政策と新興産業」をテーマに、有識者によるセミナー・視察・交流等を通じて、同分野における日本の現状・課題と展望について理解を深めるほか、日本に対する包括的な理解を促進することを目的として実施しました。

【参加者】中国社会科学院に所属する若手研究者、職員 19 名

【訪問地】東京都、宮城県

【日程】

■ プレプログラム

6 月 26 日（水） オンライン事前オリエンテーション

■ 招へいプログラム

6 月 30 日（日）～7 月 6 日（土）6 泊 7 日

日にち	概要
6 月 26 日 プレプログラム	【オンライン事前オリエンテーション】 ⑤ 主催者代表挨拶 ② 団長挨拶 ③ 参加者紹介 ④ 訪日日程説明 ⑤ 注意事項説明 ⑥ アンケート・アクションプラン説明 ⑦ 質疑応答
1 日目 6 月 30 日	東京国際空港より入国 浅草寺参観
2 日目 7 月 1 日	【テーマ関連講義】 経済産業省ブリーフ 「経済産業政策の新機軸について」 講師：経済産業省商政策局 北東アジア課 【外務省表敬訪問】 高村 正大 外務大臣政務官 【テーマ関連講義】 セミナー 「日本における産業政策の歴史：新産業育成の可能性と限界」 講師：一橋大学大学院 経営管理研究科 教授 【歓迎会】

3 日目 7 月 2 日	宮城県へ移動 瑞鳳殿・震災遺構 仙台市立荒浜小学校参観 【日本文化体験】 和風旅館宿泊
4 日目 7 月 3 日	松島・瑞巖寺参観 【テーマ関連視察・意見交換】 東北大学 ① 片平キャンパス 魯迅の階段教室見学 ② 「産学連携」・「スタートアップ支援」について概要紹介 ③ 質疑応答、意見交換
5 日目 7 月 4 日	【テーマ関連講義】 宮城県ブリーフ ① 「ナノテラス」についての紹介 ② 「宮城県における新産業の振興」について紹介 ③ 質疑応答・意見交換 東京へ移動
6 日目 7 月 5 日	深川江戸資料館・東京タワー参観 【テーマ関連講義】 SUNDRED 株式会社ブリーフ ① 「新産業創出とインタープレナー」について紹介 ② 質疑応答、意見交換 【歓送報告会】
7 日目 7 月 6 日	東京国際空港より帰国

2. 記録写真



2024 年 7 月 1 日【テーマ関連講義】
経済産業省ブリーフ



2024 年 7 月 1 日【外務省表敬訪問】
高村 正大 外務大臣政務官



2024 年 7 月 1 日【テーマ関連講義】
「日本における産業政策の歴史：新産業育成の可能性と限界」



2024 年 7 月 3 日【テーマ関連視察・意見交換】
東北大学 片平キャンパス訪問



2024 年 7 月 4 日【テーマ関連講義】
宮城県ブリーフ



2024 年 7 月 5 日【テーマ関連講義】
SUNDRED 株式会社ブリーフ

3. 参加者の感想（抜粋）

◆今回の日本視察では多くのものを得ました。主なポイントは以下の通りです。

1. 日本人は時間の概念がとても強いです。今回の調査研究行程のすべての項目は密接に関連しており、スケジュールに従って厳密に実施されるため、調査研究の効率と収穫が向上します。
2. 日本はテック系スタートアップ企業の支援に力を入れています。日本政府、地方自治体、業界団体、大学等は、技術系スタートアップ企業の育成を支援しており、新技術分野におけるイノベーションと起業家精神の強力な原動力となっています。
3. 日本は政府、大学、企業間の優れた共同イノベーションモデルを形成しており、それは主に科学技術パークの建設と科学技術企業のライフサイクル全体の開発支援に反映されています。
4. 日本の産業政策の是非は議論されていますが、総じて新産業の育成を促進してきました。産業政策の効果は一概には言えず、産業政策の具体的な支援の方向性と方式にかかっています。現在の新産業におけるイノベーションと起業のための産業支援政策は、総じて参考に値します。
5. 日本は、地域間の統合と包摂的発展のレベルが高いです。新幹線が各地への迅速なアクセスを実現し、各地の開発レベルが高く、住民の生活や公共サービスの質とバランスのレベルが高く、具体的な体験をさらに研究学習する必要があります。

◆日本の印象を2つの言葉で表すとしたら、清潔さと礼儀正しさです。清潔さは、日常の生活シーンに現れているだけでなく、新幹線やレストラン等の公衆トイレの清潔さも驚きでした。礼儀正しさは、あらゆる分野のサービススタッフに体现されています。私と同僚は、何が原因でこのような清潔さが作り出されているのか、何がサービススタッフのプロ意識と礼儀正しさに影響を与えているのかを、ツアーの間中ずっと考え、議論してきました。その最たる根源は、教育と文化だと思います。また、その優れた伝統文化をいかに生活や社会に溶け込ませていくかが、私が今回の訪日で得た最も貴重な経験です。

◆調査研究の過程で、日本はイノベーション起業精神を非常に重視しており、政策ツールや管理システムの適用が非常に多様で柔軟であるため、東北大学共創研究所のようなスタートアップ産業支援システムを確立することができたと感じました。これは、科学研究機関の管理システムの革新にとって大きな参考意義があります。SUNDREDのようなプラットフォーム企業が発展し、役割を果たす余地を持つためには、政府、ビジネス界、一般市民の間の一致した意思が必要です。また、宿泊や食事、礼儀作法など、日本の伝統文化にも感銘を受けました。日本と中国は、文化起源が似ていて、独自の文化シンボルを有しており、このことが、中日の文化の相互理解と学習の条件を造り上げています。

◆今回の訪日を経て、日本は経済、科学技術、文化、教育など多くの面で、まだまだ私たちが学び、参考にする価値がある国だと深く感じています。以下は、今回の訪問で私が経験した詳細です。日本滞在中、日本経済の強さに感銘を受けました。日本経済は、米国、中国に次ぐ世界第3位です。訪問中、日本には製造業、サービス業、金融業などの全ての分野において、世界をリードする企業があることを知りました。また、日本の科学技術力も非常に強大で、世界有数の研究開発費支出国です。日本の将来に期待しています。

4. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆中国の科学、社会技術関係の若手の方々とお話する機会などなかなかないので、非常に良い機会になりました。日本と違った質問の観点などは特に参考になりました。

懇親会に参加したことでとそこでたくさん質問がきたので、登壇の方は積極的に出られるといいですね。

- ◆・質疑応答の時間が十分に確保されており、また時間いっぱい活発な質疑応答が交わされたことは大変良かったと思います。
- ・東北大学の仕組みから学びを得に来られている姿勢が見て取れるほど、積極的にメモ等をとられており、我々も見ならうべきであると痛感いたしました。
- ・大学や自治体等様々訪問しているとのことで、会全体として、東北大学だけでなく県の実情についても紹介できる機会になったのはとてもありがたく感じました。
- ・本学鲁迅像や階段教室を見学していただき、本学を知っていただく機会を得ていただいたと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



100個の新産業の共創を目指す「新産業のエコシステムビルダー」SUNDRED株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役 CEO 兼 GM：留目真伸、以下：SUNDRED）は、2024年6月30日（日）から7月6日（土）に行われた「JENESYS2024」中国社会科学院青年研究者代表団の訪問先に民間企業で唯一採択され、7月5日（金）に視察を受け入れ、新産業共創をテーマに対話を行いました。これを受け、7月27日には、本事業実施団体である公益財団法人 日中友好会館からお礼状が授与されました。

2024年8月26日（SUNDRED 株式会社 ホームページ）

「「JENESYS2024」中国社会科学院青年研究者代表団がSUNDREDを訪問し、「産業政策と新興産業」をテーマに対話」

代表団概要や新産業創出に関する対話交流、参加者の感想を紹介されました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

	
【訪日中の学び】 今回の訪問活動を通じて、日本の新産業の発展について総合的に理解し、より詳細に把握することができました。 【アクション・プラン】 今回の訪問は良いスタートであり、今回の調査で得られた日本の新興産業や産業政策の有益な調査と先進的な経験に引き続き注目し、今後もこのテーマについて日本側と交流し、議論する機会が増えることを期待しています。	【訪日中の学び】 活動参加の過程で、日本はイノベーション起業精神を非常に重視しており、政策ツールや管理システムの適用が非常に多様で柔軟であるため、東北大学共創研究所のようなスタートアップ産業支援システムを確立することができたと感じました。また、宿泊や食事、礼儀作法など、日本の伝統文化にも感銘を受けました。 【アクション・プラン】 訪日の経験と成果を同僚に共有したいと思います。

実施団体名：（公財）日中友好会館